



動き始めた『花の都・銀座』

銀座でミツバチの飼育を始めて3年が経過しました。活動が定着すると同時に、ミツバチは屋上緑化など、花と緑の街づくりに対するモチベーションを高めているようです。ミツバチをきっかけとした『花の都・銀座』づくりが始まるようになっています。



浜離宮のキバナコスモスにて夢中でお仕事中のセイヨウミツバチ。体についたたくさんの花粉は“花粉団子”にして巣に持ち帰ります。photo: Naoko Yamamoto

『銀座のハチミツ』を採りたい

今年、私たち銀座ミツバチプロジェクトでは400kgを超えるハチミツを収穫することが出来ました。ミツバチは巣箱を中心とした半径2~3kmにある花々の蜜を集めるので、銀座の街に花が少なくても浜離宮や皇居などの大規模な緑の花々から多くのハチミツが採れたのです。

しかし、銀座の街にある蜜源となる緑は、マロニエ通りやサクラ通り、並木通りの街路樹、小さな花壇など特徴あるものが多くありますが、その量は必ずしも多いとはいえない現状なのです。

「銀座でハチミツ」が採れているけど、『銀座のハチミツ』が採れるともっと素敵だよね」そんな想いを具体化するために立ち上がったのが、松屋銀座店の屋上で実施されている「銀座グリーンプロジェクト」です。

銀座で緑をつくる

「銀座グリーンプロジェクト」は、屋上を緑化して銀座の街に緑をつ



銀座のメンバーもミツバチの暮らす紙バルブ会館の屋上に様々な花を植えました。



紙バルブ会館屋上の花々。季節ごとの蜜源に。

くることで、心地よい空間の提供、ヒートアイランド現象の緩和などの環境改善と同時に、「銀座ミツバチプロジェクト」と連携し、ミツバチたちの蜜源となることを目指したプロジェクトで、野菜などの栽培とラベンダーなどの蜜源植物の栽培が平行して実施されています。

銀座の緑をつなぐ

「街に緑を生み出すことを目的にせず、これを手段として、環境の改善、実りの楽しみ、銀座のミツバチたちの蜜源にすることをモチベーションとして取り組みを進める。結果として緑がもたらす様々な恩恵によって、街に新しい価値をもたらす」この考え方は、徐々に広がっていくようです。

■マロニエゲート：マロニエゲートでは、当初、条例による緑化義務のため、屋上に芝生を植えました。今ではそれを積極的に活用し菜園や花壇にするなど、ミツバチの蜜源となるイチゴ畑とする計画が検討されています。

■銀座プロッサム：銀座プロッサムでは、施設改修にあわせて緑化するにあたり、屋上に花畑を整備してミツバチの蜜源とすることを検討しています。

■白鶴酒造株式会社：この銀座を緑化する機運の高まりは、ミツバチの蜜源となることを超え、白鶴酒造では、屋上を活用した酒米づくりが行われ、この秋に銀座産の酒米が収穫され、来年には銀座産のお酒ができる予定です。

このようにミツバチが街の緑づくりのモチベーションとなり、各々の緑づくりが街に新たな緑づくりの波及効果を生じさせています。

灰色のビルの屋上の群れに、点々と緑が生まれています。人にとっては空調機の置き場ではない屋上も、緑化することによって生き物を育む貴重な空間となり、地球と街の環境を改善します。

ミツバチは点在する屋上の緑を縦横無尽に飛び回って、街をつなぎ、ハチミツという形で私たちにその成果を見せてくれるのです。



白鶴酒造屋上で見事に実った稲穂。